

# 自身のスキルはどう活かすことができるか？

学校名:辻調理師専門学校 名前:東庸介

対象	3年	単元名	
科目	食と環境ワーク ショップ	社会貢献活動の計画	
時間	1	目標	自身が学んだスキルは何に役立つのかについて考えることができる。
参考資料	『あおいほしのあおいうみ』 ほか		

## 期待できる学習効果

- ・学生自身が自らのスキルを客観的に振り返ることができる。
- ・社会貢献とは何か？について考えることができる。
- ・社会に自分のスキルがどう還元することができるのかを考えることができる。

## 授業内容

弊校の「食と環境ワークショップ」という科目では、学外ボランティアを3回行くことを必須としている。これは「自身のスキルを活かして社会貢献活動をやってみよう」という意図で設定している。基本的には自分でボランティア先を探してくるとするが、自身の方向性の参考として、あおいほしのあおいうみを使用する予定である。

世の中でボランティアを必要とする場面は、家族、友人、企業、行政などに頼ることができない最後の砦となったときである。

そんなボランティアをするために、まず自身が持っている特長は何なのかを知ることが大切である。自身の持っている特長を活かしたボランティアをプロボノというが、自身の持つスキルの再認識をまず行う。

次に調理師という職業がどのように社会で活躍しているのかを改めて知る。職業としての活躍は3年生の段階であるので、散々学んでいるが、社会にどう貢献しているかについては残念ながらまだしっかりと知ることができていない。

ここであおいほしのあおいうみを用いて自身のボランティアの選定の一助にしたいと考えている。